

第九十一卷 第二号 目次

犬伏由子教授退職記念号

序

岩 谷 十 郎

買主の正当な認容拒絶
——商法第五二七条の沿革および比較
考察を契機に——

保証人の錯誤問題
——諸判決の個別的検討——

金 山 直 樹

医療過誤における損害賠償責任の一元化の可能性
——人身損害賠償法における法的構成のユートピア——

北 居 功

錯誤法の意義と限界に関する「考察
——保証契約における「法律行為の内容化」を中心——

武 川 幸 嗣

再婚禁止期間訴訟をてがかりとして
——夫婦共同制による「子の利益」
の意義
——平成二七年最高裁判決への反論を
契機に——

平 野 裕 之

遺言による権利取得における登記の要否

田 高 寛 貴

債権の準共有について

松 尾 弘

——裁判例の考察による具体的判断要素の分析——

水 津 太 郎

原点としての婚姻法

西 希 代 子

ドイツ剩余共同制における家財道具の
物上代位規定
——成立から削除にいたるまでの経緯——

水 津 太 郎

夫婦共同制による「子の利益」
の意義
——平成二七年最高裁判決への反論を
契機に——

古 賀 紗 子

アメリカにおける家族の変容と同性婚

西 川 理 恵 子

韓国における親養子制度と入養特例法
の意義
——夫婦共同入養要件をもとに——

田 中 佑 季

ブラジルの簡易裁判所(Juizado Especial)
と消費者被害の救済

——ボルトアレグレ市及びサンパウロ
市における聞き取り調査とともに——

前 田 美 千 代

犬伏由子教授略歴・主要業績